

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市中央区南橋本3丁目計画	階数	地上8F
建設地	神奈川県相模原市中央区南橋本三丁目517番1	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	106 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年8月18日
敷地面積	674 m ²	作成者	株式会社寺澤雄治アート設計工房
建築面積	308 m ²	確認日	2023年9月19日
延床面積	2,339 m ²	確認者	株式会社寺澤雄治アート設計工房



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺環境に配慮した計画を努めた。また省エネ性に配慮した快適な室温環境を整えられるよう努めた。	
その他	特に無し	
Q1 室内環境	断熱性能を平成28年基準による省エネルギー対策等級5相当とし、外皮性能に配慮。F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	断熱性能を省エネルギー対策等級5相当、LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	Q3 室外環境(敷地内)
	LR2 資源・マテリアル	設備は耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。
	LR3 敷地外環境	P.S.、天井内配管等により設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。
		LR3 敷地外環境
		ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される